

市議会だより

- 記事内容 ●12月定例会から……………P 2 ●常任委員会……………P 9
●一般質問……………P 3～P 7 ●陳情等……………P 10
●予算特別委員会…P 7～P 8



波 濤(はとう)
桜島付近にて

提供：男鹿写真クラブ 夏井八洲夫氏

新春を迎えて

男鹿市議会議長 船木 茂



新年明けましておめでとうございませう。

市民の皆様には、日ごろから市政に対するあたたかいご理解と絶大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに新年を迎え、本市の一段の躍進を期して、清新の気がみなぎるのを覚えます。

さて、現在の社会経済情勢は、国際化、情報化、少子高齢化が急速に進行しており、このような時にあたり、本市においても克服すべき多くの課題を抱えております。行政需要はその質量とも、ますます複雑多様化するなど、誠に厳しいものがあり、速やかに財政の健全化を図ることが緊急の課題となっております。

私ども市議会といたしましても、議会の活性化を図り、市民の期待にこたえるべく研さんに努め、さらなる市勢の発展に、市当局と一体となって取り組んでまいれる所存でありますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。今年一年が市民の皆様にとりまして良い年でありますことを、心からお祈り申し上げ、新春を迎えてのごあいさついたします。

12月定例会

佐藤市長
次期市長選へ不出馬

平成二十年十二月定例会は十二月二日に招集され、十二月十七日までの十六日間の会期で開かれました。
この定例会では、地域活性化のための緊急総合対策事業費を措置した一般会計補正予算など十五議案が市長から提案され、審議の結果すべて原案のとおり可決・承認されました。
また、最終日には議員提案の意見書案五件を可決し閉会しました。

今定例会の一般質問において、佐藤市長は四月十六日の任期満了に伴う市長選挙について「長期にわたる市政運営はともすればマンネリ化を招くことから四期十六年を区切りとしたい」と答弁し、出馬しないことを表明しました（質問の概要は次ページに掲載しております。）

緊急総合対策

について

今定例会では、燃料、食料価格、生活関連物資の価格上昇など市民生活に大きな影響を与えていることから緊急総合対策に係る予算について提案されました。

その内容の主なものとしては、○高齢者世帯などを対象に冬期における灯油購入費の一部を助成する「男鹿市福祉灯油購入費助成事業」、○市内の消費拡大と商工業の活性化を図るため男鹿市商工会が発行する商品券のプレミアム分を助成する「男鹿市共通商品券助成事業」、○農漁業者が過去の災害等の際に借り入

れた資金の利子について、平成二十年度分に限り助成する「男鹿市農漁業経営利子助成緊急対策事業」、○漁業関係者の経営安定化を図る「男鹿市漁業振興資金貸付制度」の創設、○七口歳児の入園希望者増に伴い保育サービスの充実を図るための「船越保育園乳児室増設事業」、○災害発生時に備え宮沢海水浴場などに「防災行政無線設備の改修事業」を実施することとしております。

ジョイフルシティ男鹿等の
閉店について

市長から、男鹿都市開発株式会社からの報告で、「民事再生手続開始の申し立て後、営業の継続を前提にスポンサーを探していたが見つからず、平成二十年十月二十九日付けで閉店し、全従業員を解雇する。」ということであった。市としては、再就職を目指す方を支援するため、観光商工課に「ジョイフルシティ男鹿等離職者緊急雇用窓口」を開設しました。また、男鹿雇用

審議日程

12月2日	本会議
4日	本会議（一般質問）
5日	本会議（一般質問）
8日	本会議（議案質疑）
9日	予算特別委員会
10日	常任委員会・分科会
11日	常任委員会・分科会
17日	予算特別委員会 議会運営委員会 本会議

開発協会内に大量離職者緊急雇用対策協議会を設置したほか、ハローワークなど関係機関等と情報を共有し離職者の再就職先の確保に努める決議をすることにも、市内事業者に対しては、離職者を雇用する事業主に三十万円を交付する制度のさらなる活用について周知に努めているとの報告がありました。

国民健康保険税の滞納による
資格証明書の交付について

国保税の滞納により資格証明書を交付している世帯に子どもがいる場合の取り扱いについては、子どもを受診機会を確保するため、平成二十一年一月から十八歳未満の子どもについては、保険証の返還を求めず、短期被保険者証を交付することとしました。

可決した
主な議案

十二月定例会

〈条例〉

- 男鹿市水道事業、ガス事業及び簡易ガス事業の設置等に関する条例の一部改正
- 男鹿市国民健康保険条例の一部改正

〈平成二十年度補正予算〉

- 一般会計（第四号）
- 男鹿みなと市民病院事業会計（第一号）

- 国民健康保険特別会計（第四号）
- 男鹿市上下水道事業会計（第一号）

- 男鹿市ガス事業会計（第一号）

〈その他〉

- 男鹿市児童館の指定管理者の指定について

〈議員提出議案〉

- 意見書五件

ほか七件

一般質問



三浦桂寿 議員

市長選への出馬は

質 市長はこの定例会において進退の決断を市民にはっきりと伝えるべきだと思う。この苦しい時代にどうやって男鹿市を元気にするのか、市長はリーダーとして具体的な施策を説得力のある言葉で語ってほしい。二十一年四月の市長選への進退について市長の決断を伺います。

答 合併後の新市長就任の目的でありました新生男鹿市の基礎づくりや合併後の速やかな一体感の醸成などがある程度図られたと認識しており、議員の皆様をはじめ、市民の皆様に対し、心から感謝申し上げます。現在、様々な課題も残っております。

りますが、次期市長選への出馬については長期間に渡る市政運営はともすればマンネリ化という弊害を招くことを深慮し、前途洋々たるこの男鹿市に新しい風を注入し、さらなる飛躍の転機とするため、熟慮を重ねた結果、四期十六年を区切りとし、次期市長選挙へは出馬しないことを決断しました。

船川第二地区の下水道計画について

質 本市においては各地域の事情に即した下水道事業が進められていますが、まだ恩恵を受けていない地域も多い状況です。また、市民の経済状況の悪化や高齢化による老人世帯等の増加により、下水道接続による効果は理解しているもののトイレ改修に要する経費などから下水道加入への足を踏むという状況もあると思われれます。先般、船川第二地区において住民意識調査を実施したようですが、その結果と今後の対応について伺い

ます。
答 比詰地区において二十年五月に百二十九世帯を対象に意向調査を実施したところ、下水道加入希望世帯は三十一世帯、約二四％という状況でありました。事業の効果を十分に発揮するためには、地域住民の下水道加入への熱意が不可欠であり、事業化は難しいと考えておりますが、市民の健康で快適な生活環境づくりと、公共用水域の水質保全を図るため、下水道事業の必要性について啓発してまいります。



船木正博 議員

人口減と雇用問題について

質 人口流出を防ぐ最大の政策それが企業誘致による雇用の場の創出と考える。今こそ企業誘致に最大の力を発揮すべきではないだろうか。そこで、人口減を抑え、人口増への施策はある

離職者に対する雇用対策は

雇用対策は

質 今年度、観光商工課内に企業対策室を設置しましたが、これは雇用の場の創出と企業誘致、市内既存企業の経営充実を図るためと承知しております。ジョイフルシティ男鹿店やユナイテッドの閉鎖は多くの市民がショックを受けました。県ではいち早く緊急雇用対策連絡協議会を設け、離職者の就職相談に応じることとしております。男鹿市の商工行政担当課としてどのような対策を講じているのか伺います。

答 不安を抱えながら再就職を目指す離職予定者の支援のため、平成二十年十月十七日に観光商工課内にジョイフルシティ男鹿等離職者緊急雇用相談窓口を開設し、対応に努めているほか、関係機関と連携しながら、同年十月二十三日には、男鹿雇用開発協会内に大量離職者緊急雇用対策協議会を設置し、事業主に離職者雇用に対する国などの助成制度の周知や市の再就職緊急支援奨励制度の活用を呼びかけるなど、離職者の再就職支援に努めております。

ものか。雇用創出のための取り組み状況はどうか。企業誘致の見通しはあるものか。市長の考えを伺います。
答 人口減少を抑制し、増加を図るための施策については、少子化対策として、子供を生み育てやすい環境づくりに努めるほか、企業誘致や既存企業の安定経営の促進など、さらなる雇用の拡大に努めてまいります。また、雇用創出のための取り組み状況については、あらゆる機会を捉えて、企業誘致活動を行ってきたところであり、企業誘致の見通しについては、極め

農業政策について

質 平成十九年度においては約三割という大幅な減反を行っていてもかかわらず、米価は下がり、農家所得は減少する一方です。この米価の現状を打開するため「米の精」などのような特別栽培米の生産販売や男鹿米のブランド化、また、市内経済

一般質問

にとつて一種類に偏った作付けは、当該品種の入札価格の影響を大きく受けることから、新品種「ゆめおぼこ」の作付け誘導により「あきたこまち」に偏った作付けを転換し、多様化を図つたらどうでしょうか。

答 特別栽培米や男鹿米のブランド化の栽培促進については、環境保全や市場での優位性を確保する観点から、特別栽培米や減農薬、減化学肥料による栽培を推進していかねければならぬと考えております。また、「ゆめおぼこ」の作付け誘導については、主力品種である「あきたこまち」の市場における取引量が落ち込み傾向にあり、今後JAをはじめ関係機関・団体と連携し、品種の特性を見極めながら取り組んでまいりたいと存じます。

食育について

質 ①学校給食の今後の運営について②給食費の値上げについて③食育教育に対する教育委員会の取り組みについて伺います。

答 ①食の安全が不安視され、物価高騰の中ですが、調理場の運営に当たっては、より安全で安心できる給食の維持、地場産品の利用を一層進めてまいります。②給食費の値上げについては、今年度から一食当たり五円から三十円の幅で値上げしております。これは原油高騰による



笹川圭光 議員

「地方の元気再生事業」について

質 国の一〇〇%補助事業である「地方の元気再生事業」は、男鹿市総合計画の具体性や市政の考えを示す絶好のチャンスである。この事業への取り組みをどのように進めてきたのか。具体的な進捗状況と具体的にどうまとめ、いつ頃提案なさるのか伺います。

コストの上昇、国内産の食材を使用するためなど、安全な給食を提供していくためには、やむを得ないものと考えております。③各学校では、食に関する指導全体計画を作成し、学校給食の指導の充実や、望ましい食生活に関する態度や能力を育てるため、教育活動全体で食育の推進

答 本市においては、時間的制約もさることながら、地域活性化施策として進めている事業を点検したところ、主に民間活力の積極的な参加、組織体制づくりなどの複合的な要件に弱い部分があり、応募を見送ったものであります。今後は、再度、具体的な目標や推進基盤を整備し、事業提案

について検討していくこととしており、民間からの応募についても働きかけているところで、応募期間については、平成二十一年度同様、五月頃になるものと思われま

男鹿中地区活性化策は

活性化策は

質 総務省、農林水産省、文部科学省の三省合同で本年度から推進している「農山漁村交流プロジェクト」では、本年度の受け入れモデル地区として、仙北

に努めております。具体的には、家庭科・理科の授業では、献立を考える学習や栽培体験、保健体育では、望ましい食習慣の形成、総合学習では、地元食材や生産に携わる工夫や苦勞を調べる学習などが行われております。

答 市を含む二十四道県の五十三ヶ所が選定されており、来年度は、全都道府県に拡大する方針であるとのことである。男鹿中の活性化事業については以前にも提案しているが、同プロジェクトを利用して、今後、同地区の活性化をどのように、具体的に進めていこうとするものか伺います。

答 県においては、平成二十年六月、推進市町村連絡会議を設置しております。本市もこれに参加し、去る十一月に開催された第一回の連絡会議では、プロジェクト推進のための情報交換や課題検討を行ったところであります。今後も引き続き、庁内各課及び関係機関と連携を図り、情報収集と課題検討を行いながら、プロジェクトを推進してまいりたいと考えています。男鹿中地区においても少子高齢化の進行は著しく、小学校や保育園

の統合により公共施設が遊休建物となつております。これらの建物の有効活用を図り、地域活性化に結び付けることができるよう、地域の皆様とも協議してまいりたいと存じます。

人材育成と職員の意識改革について

質 行財政改革も職員の意識改革も全て人材育成にかかっております。市民の切迫された状況を考えれば、職員の意識改革なくしては、市の再生・発展はあり得ません。ただ職員への呼びかけや、研修を実施していればいいのではありません。組織機構改革など行政改革について、具体的にどのような計画を持ち進められておられるのか伺います。

答 今後も、本市を取り巻く社会情勢や財政事情を考慮しながら、諸課題や市民の多様なニーズに対応するための効率的な行政運営や職員数の削減などからより一層簡素でスリムな組織機構の確立を図る必要があり、平成二十二年からの第二次行政改革大綱の策定に向けて、具体的に検討することとしております。

一 質



中田謙三 議員

定額給付金について

問 政府は、総額二兆円の定額給付金を支給したいと考えているようだが、市長は、この政策をどのように理解し評価しているのか。また、男鹿市には総額にしていくら支給されるのか。そして、どのような手続きが必要なのか。また、大阪市はふるさと納税の増収につなげようと全職員に寄付を呼びかけたが、市長はこのことをどのように考えるか。男鹿市でも同じように取り組む考えはないのか。市民・職員が支給を受けた定額給付金の一部をふるさと納税に寄付していただくよう、市長は呼びかけできないものか。

答 定額給付金の評価については、様々な議論があるものの、経済対策としては評価できるもの

のと考えております。本市の支給総額を住民基本台帳から試算しますと、約五億三千万円が見込まれます。次に申請方式は郵便申請方式、窓口申請方式、窓口現金受領方式が示されています。ふるさと納税への寄付呼びかけについては、寄付行為は個人の自発によるもので強制はできないものと存じます。職員にも自主的な申し込みがあり、ひとりでも多くの方の寄付がいただけるように努めてまいります。

問 市長はこの定額給付金をいだけうれしいですか。また、自身としてはその使い道はどのようにお考えですか。

答 今、大変家計が苦しい中で、それぞれの家計の一助になるのではないかと考え、国でやる政策には私も賛同しています。

道路整備に対する

考えについて

問 県道男鹿琴丘線は狭隘な上、数力所に電柱等が残っている、改善できないか。また、脇本・角間崎間の県道バイパスについて、現在の進捗状況と見通しについて伺います。また、琴丘森

岳インターから大瀧村経由の国道一〇一号へのアクセス道路も早期の実現を願う。

答 県道男鹿琴丘線の支障柱については道路管理者である県と協議してまいります。次に、脇本・角間崎間のバイパスについては平成二年度から事業を実施しており、総延長四千六百二十七メートル、幅員六メートルの計画で、これまで飯の森工区については平成十二年度から十五年度に載荷盛土、バイプラインの付け替え工事を行い、百川工区は平成十九年度に用地買収、平成二十年度には暫定盛土及び



佐藤巳次郎 議員

緊急経済対策の実施と

失業対策は万全か

問 アメリカ発の金融危機は日本経済に深刻な影響を与え、大企業では派遣社員などの首切りによる若者の使い捨てが行われ、金融機関による貸し渋り、貸しはがし等により中小企業は倒産に追い込まれております。本市においてもジョイフルシティの

水路工を実施しております。また、角間崎地区については、去る十一月十三日と十四日に地権者すべての用地買収契約が済んだ旨を県から伺っています。次に、琴丘森岳インターのアクセス道路の整備については、要望ルートとして大瀧村の男鹿琴丘線と男鹿八竜線との交差点より、西部承水路を渡り釜谷地区の国道一〇一号へのアクセスとしており、これまで旧若美町当時から、周辺市町村で構成する日沿道琴丘森岳インターチェンジ・アクセス道路建設促進期成同盟会において県に要望を行って

倒産による百三十人を超える解雇、男鹿温泉での冬期間の休業等々深刻であります。ある事業所では「最近、急激に仕事量が減少し、この状態が長く続けば会社の存続も危ぶまれる。」と話されており、①市の経済対策は何か。それによって十分な対応ができるのか。さらなる補正予算が必要ではないのか。②市内の失業者数や雇用状況はどのようなになっているのか。③失業対策事業を行うべきである。また、失業中の生活支援として税の減免、医療費の無料化、就学援助、給食費・保育料の無料化、離職者支援の貸付等について伺います。

きています。本アクセス道路は観光産業や地場産業の振興に寄与する重要なものであり、高速交通ネットワークへのアクセス向上を図り利便性を高めるためにも、緊急の課題であると認識しており、男鹿地域半島振興対策協議会へも要望しています。

問 県道バイパスは角間崎までいつまでに開通になるのか、今話せる範囲内での、年度をお知らせ願いたい。

答 道路特定財源がどうなるのか、一番気になるところでありますが、県も二十六年完成を目指しています。

答 ①国の「地域活性化、緊急安心実現総合対策交付金」を活用し、「福祉灯油購入費助成事業」、「共通商品券助成事業」、「農業経営利子助成緊急対策事業」、「漁業振興資金貸付制度」等六事業の予算を提案しております。経済対策、雇用対策は市にとって緊急の課題であり、今後、関係団体と協議しながら最大限努力してまいります。②ハローワーク男鹿管内の十月末では有効求職者数一千五十二人に對し、有効求人数は三百六十七人で有効求人倍率は〇・三五倍と非常に厳しい状況となっております。雇用の状況は照会件数四百六十件に對し九十六人の就

職となっております。③今後、国、県の新たな緊急対策や経済対策の動向を見て対応していくことにしております。市としては冬期の歩道除雪や発注を予定している道路維持工事等にあたって、受注者へ離職者を雇用していたらどうかようお願いしてまいります。

税の減免については世帯の事情を考慮し、総合的判断のもとに対応しており、医療費の無料化については、失業等により収入が著しく減少した場合、医療費の一部負担の減免や徴収猶予を行うております。就学助成制度の適用と給食費の無料化については、経済的理由により支払いが困難と認められる保護者については申請していただくこととしております。保育料の無料化については現状では困難であります。離職者支援資金については生計中心者が失業した場合、月額二十万円の限度額で十二月以内二百四十万円まで貸付をするもので、緊急小口資金については低所得者に対して十万円を限度に貸付する制度であります。

地域医療の中核として 公立病院として存続を

問 みなと市民病院については毎議会赤字問題を中心に議論され、その多くは①市長の責任②一般財源の持ち出しによる市の財政破綻の懸念③患者増は期待できないので独立行政法人化や民間に経営を譲渡すべきである

という議論であります。私は赤字問題だけをとらえての議論では、病院の崩壊につながる危険が大きく市民の健康は守れないと考えます。公立病院の赤字問題の大きな要因は国の医師不足につながる政策、診療報酬の引き下げ、地方交付税の削減、患者負担増による受診抑制があると考えます。経営努力は当然必

要ですが、公立病院として存続させるべきと考えますが、市長の見解を伺います。

答 みなと病院は地域医療を守り、市民の命と健康を守り続けることを基本使命としており、最大限経営努力をまいりま

す。の制度が有効活用されるよう周知を図ってまいりたいと存じます。

子育て支援について

問 安心して赤ちゃんと一緒に外出できるようにと、オムツ替えや授乳の際に立ち寄って利用できる「赤ちゃん駅」などを設置する自治体がでてまいりました。そこで「赤ちゃん駅」の設置について、民間に対して呼びかける考えはないものか伺います。また、男性トイレにも設置して欲しいとの要望もあります。民間を含めた各施設に対し、子育て世代を応援する観点から、育児支援機能の充実を求める考えはないものか伺います。

答 「赤ちゃん駅」は、乳幼児を抱える保護者の皆さんの子育てを支援する取り組みの一環として、その場所を駅として登録しているものです。現在、本市の公共施設では、市庁舎にオムツ交換台、文化会館、ハートピア等にベビーベッドを設置してありますが、民間施設については、商工会などと連携を取りながら、今後、各種会合等で働きかけてまいります。男性トイレへの設置については、今後、検討してまいりたいと存じます。



佐藤美子 議員

農業政策について

問 世界的な原油・食料価格の高騰により、農林水産業者や中小企業者などの価格転嫁が困難な立場にある生産者は大きな打撃を受けており、平成二十年八月二十九日、政府は安心実現のため、緊急総合対策を発表いたしました。それに伴い、男鹿市としても農業にかかわる対策、

方針がありましたらお知らせください。

答 安心実現のための緊急総合対策の取り組みについて、地域活性化緊急安心実現総合対策交付金は、実現計画を作成した市町村に対して交付されるものであり、本市の支援策は、原油高騰などで経営を圧迫されている農漁業者等に対し、過去の災害や社会経済情勢の影響などによる借入金への利子助成を行う市農漁業経営利子助成緊急対策事業を計画し、今定例会に三百三十万五千円の補正予算を計上しております。

農商工連携による 地域活性化について

問 農商工連携を促すために、地域を支える中小企業と農林水産業が連携した事業に対して、税制面で支援する農商工連携促進法が、平成二十年七月二十一日に施行されました。この法律

によって地域を支える中小企業者と農林漁業者が連携して、新たな事業を起こす場合、事業計画が認定されれば設備投資や生産、販売、需要拡大など一連の事業展開にわたって減税や低利融資、債務保証など、きめ細やかな支援措置を受けることが可能となりました。こうした国の支援事業を積極的に活用し、地域活性化の促進に取り組みむべきと思いますが、市長の考えを伺います。

答 中小企業者と農林漁業者が施策を共有することで、新たな展開を開ける可能性がある農商工等連携促進法は、議員のご提言のとおり、地域活性化の切り札として必要な施策であると認識しております。市といたしましても、七月に開催された農商工連携セミナーに関係課職員を出席させるなど、制度の理解に努めております。今後は、各関係機関と広く連携しながら、こ

一般質問

一 質



安田健次郎 議員

市長の政治姿勢

について

質 雇用や景気・経済が大変な状況の今、私たち地方の政治に関わる者としても、市民の暮らしと命を守る責任を痛感している立場から、市長の考え方について質問いたします。

①麻生政権の定額給付金は、支給方法を地方に委ねるとして丸投げしていますが、市長はどのような所見をお持ちでしょうか。②後期高齢者医療制度について、わずかの年金からの天引きは止めるべきと思いますが、市長としてはどう考えているのでしょうか。また、県内で減免申請を申し出たが、広域連合では却下する様子です。男鹿市内の高齢者の平均額は少ない方が

多いと思いますし、県の対応待ちではなく、市政の温かい思いやりを貫く意味でも、減免申請を市で受け付けるべきだと思いますがいかがでしょうか。③三年毎の改正で介護保険制度の矛盾が広がっています。一つは、職員の仕事不備からくる職員不足も一つは、保険点数の引き下げなどで、サービス低下も含めて経営難の事業所が出ています。市として、こうした事態をどの程度掌握して、どう対応する考えなのかを示していただきたい。④近年、スズメバチの被害が多いと聞かれますが、果の除去を市にお願いすると業者が取り払ってくれますが、結構お金がかかります。低所得者や高齢者などの要望については、市の生活支援事業などの運用等で援助すべきと思いますがいかがでしょうか。⑤倫理上の問題で、県でも示していた不祥事防止対策の一つとして、口利き防止などを検討すべきと思いますがどうでしょうか。

答

①国の定額給付金について

は、給付時期は確定していませんが、一定の効果があるものと考えています。②年金からの天引きについては、広域連合で協議中ではありますが、一律の交付ではなく、低所得者への十分な配慮のもとに実施できるよう努めてまいります。また、減免の決定権は、広域連合にあることから、市としては、審査会の動向を注視してまいります。③介護施設の職員については、必要最小限の人員で運営している事業所もあることから、待遇改善が急務であり、今後、十分検討してまいります。④スズメバチの巣については、市民の願いや要望には個々の事例ごとに親身になり、対応してまいります。⑤口利きについては、県や他市の状況を見ながら検討してまいります。

農漁業の振興策

について

質 農業・漁業の振興策については、相変わらず深刻な状況でありますが、特に来年度の水田転作率は、四〇%になると思われまます。そうした中、今後の農業振興をどう考えているのか。また、農業振興資金の貸し出し内容も拡大する必要はないもの

か。さらに、漁業振興資金を創設することとなり、私は評価したいと思いますが、問題は今後の運用方法などが大事と考えますがどうでしょうか。

答

水田農業推進協議会を関係団体などと連携して推進してまいります。振興資金については、国などの制度資金を補完することを目的として、効率的に運用してまいります。漁業振興資金

予算特別委員会

本定例会において、全議員で構成する予算特別委員会が設置され、付託を受けた一般会計補正予算のほか、各特別会計の補正予算について審査を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計等補正予算で質疑された中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

人事異動の時期・部制

存続の可能性は

質 今年度をもって退職される職員が三十名を超えると伺っているが、今までにない退職者数で、管理職の方々が多数退職されるという中、定期人事異動については、四月一日に実施すべきものと考えているが、四月

については、今回は一千万円を計上し、漁業の継続と経営の安定を図ろうとするもので、貸付金は、漁協が制度の目的に基づく貸付要件を定めて、組合員に無利子で貸し出すこととしています。今回は、十分な対応ではないかもしれませんが、来年度以降も資金需要と市の財政状況を勘案しながら対応してまいります。

に執行される市長選挙後に人事異動を実施するものなのか伺います。また、部制については、平成十九年三月定例会では、今年度で廃止するということがあったが、現状での考え方を伺います。

答 定期人事異動については、通常であれば、市長選挙後に実施しているものですが、今年度をもって退職される課長等が十

三課にもおよぶことから、スムーズな行政運営を図るためにも、議員の皆様のご理解をいただきながら、不在となる課長等については、四月一日に配置すべきものと考えています。また、部制については、市内経済の活性化、雇用の確保、少子化対策、みなと市民病院の経営健全化など課題が山積しているのが現状であることから、現時点では、効率的・機動的に行政運営していく上では、総務企画部・市民福祉部・産業建設部の三部については必要と考えていますが、来春、市長選挙があることから、部制については、新たな市長の下、再度検討されるべき事案と考えています。

後期高齢者医療

保険料について

【質疑】七十五歳以上の方々で、年金額十八万円以下の方々については、普通徴収となっているが、この方々の納付状況について伺います。あわせて、口座振替にしている方々は、どの程度おられるのか伺います。

【答】後期高齢者医療の保険料納付状況については、平成二十一年十一月末現在では、普通徴収分調定額四千八百五十万五千円

収入済額三千二百五十七万二千円、収入率六七・一五%となっており、普通徴収の滞納者数は、平成二十年九月時点の該当者九百六十名のうち、七十七名で率にして八%となっています。また、口座振替については、現在のところ二七%となっており、平成二十一年四月からは、年金から天引きされている方々についても、国民健康保険税同様、口座振替が可能となります。

期日前投票所の

設置場所は

【質疑】補正予算に知事・市長選挙費が計上されているが、期日前投票については、投票率向上の効果が現れており、期日前投票所の増設が必要と考えているが、設置状況及び今後の増設計画の見通しについて伺います。

【答】期日前投票所については、これまで市役所本庁、若美総合支所、各出張所七カ所、ジョイフルシティ男鹿店で実施してきましたが、平成二十年十月末でジョイフルシティが閉鎖されたことに伴い、市では、天野金物店に相談したところ、期日前投票所として利用させていただくこととなりました。また、脇本・船川地区においても、大型店

に依頼しましたが、店内に期日前投票所を設置するスペースがないとの理由から断念した経緯があります。市としては、今後増設の方向で検討してまいります。



スーパーセンター アマノ

船越踏切駅前線

について

【質疑】船越駅前整備事業については、地域の方々からは、縁石ブロックの設置により、車道が狭隘となり、冬期間は非常に危険ではないかと心配する声も聞こえてくるが、大雪となった場合には、縁石が見えなくなり、

事故が起こる危険性もあると考えられる。縁石ではなくラインを引くなどといった対応の方がベターだということも言われているが、市としては、どう考えているか伺います。

【答】今まで船越駅前については、道路交通法が適用とならない広場であったわけですが、今年度整備したことに伴い、同法が適用となることから、男鹿警察署と協議した結果、歩道部分と車道部分を区分するためには、間に縁石ブロックを設置することがベターだという指導を受け



船越駅前

設置したほか、車両のスピードを抑制するためカーブを設けました。また、冬期間の安全対策については、スノーポールなども設置しており、さらには、歩道も含めた除排雪体制も充実させ対応してまいりたいと考えています。

生活保護費増額の要因は

生活保護費の補正予算一千万円の増額については、不景気等の問題による失業者や生活困窮者が急増していることによるものなのか。また、生活保護世帯の実態についても伺います。

【答】今定例会に提案しています補正予算一千万円の増額については、医療扶助の入院外の件数が増加したことによるものであります。また、本市における生活保護の実態については、生活保護世帯の割合は市全体で十四・一パーミルであり、平成十九年度と比較し、二十四世帯、三十人の増加となっていることから、徐々に増加傾向にある状況となっています。

※パーミル 千分の一を表す単位
一パーミル〇・一パーセント

委員会・分科会の動き

各常任委員会・分科会は、付託議案と所管の予算案を審査し付託議案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

質疑のあった主な事項は、次のとおりです。

総務

【質疑】 来年度予算の編成と予算配分の考え方について伺います。

【答】 来年度予算の編成については、明年度は市長改選期に当たることから、骨格予算とするものであります。また、予算配分については、歳入をできるだけ確保するとともに、歳出は、市内経済へ配慮しながら、先例慣例にとらわれないことなく、限られた財源で効率的配分に努めるといふ方針のもとで、喫緊の課題である市内経済の活性化、雇用の確保、人口減少の抑制及び少子化対策等の解決に重点を置き編成されるものと考えています。

【質疑】 男鹿みなと市民病院経営健全化計画と財政計画の整合性について伺います。

【答】 男鹿みなと市民病院経営

健全化見直し計画では、今年度以降新たに発生すると見込まれる、不良債務について、その解消のため平成二十一年度一億五千万円、平成二十二年度から二十七年まで各八千二百万円を繰り入れるなどの考え方に基づき、財政計画に組み入れて進めていかなければならないという基本的な考え方であり、このことを踏まえ、来年度予算については、地方交付税や市税の動向など様々な要因はあるが、一般財源ベースで一億五千万円程度の財源不足が生じるものと考えており、その対応としては、現在約六億円の財政調整基金を災害等に備え、五億円程度を確保し、同基金の運用を図りながら対応してまいります。

【質疑】 職員定員管理状況について伺います。

【答】 定員管理計画では、合併後五年間で六十六人の職員縮減計画となつていっているものであり、平成二十年四月一日現在で四十五人減少しています。また、平成二十一年四月一日時点では、六十七人の減となる見込みであり、計画より一年早く達成される見通しであります。

【質疑】 船越保育園増築工事の内容について伺います。

【答】 船越保育園の定員数は百三十五人で、十一月一日現在の入園者数は百五十一人となっており、船越地区周辺からの入園

教育厚生

【質疑】 福祉灯油購入費助成事業に関わる、支給対象者の範囲及び支給時期等について伺います。

【答】 支給対象者は、昨年度とほぼ同様ですが、高齢者世帯においては、満七十歳以上の方と十八歳未満で構成される世帯及び満七十歳以上の方と重度障害者のみで構成される世帯などを今年度新たに追加したものです。さらに今年度は、引換券ではなく、口座振込による現金支給としたもので、福祉灯油も含め、低所得者に対する生活支援給付金的な役割も果たすものと期待しています。また、市広報一月・二月号に本事業の内容を掲載することとしており、申請期限を二月十日とし、二月末までには交付決定を行い、三月中旬頃には口座振込を終了する予定です。

産業建設

【質疑】 漁業振興資金貸付金に關し、秋田県漁業協同組合から市内漁業者への転貸にあたっては、不公平感が生じないよう指導を徹底して頂きたい。

【答】 本貸付金については、漁業者の経営が様々な要因で圧迫されていることから、資金面から支援したいと考え創設したもので、緊急避難的な運転資金として、なるべく多くの漁業者に活用していただけるよう県漁協に申し入れをしております。詳細については、今後さらに協議を要しますが、貸付に際してトラブルや混乱が起きないように進めてまいります。

【質疑】 男鹿総合観光案内所の施設機能の拡充のため、平成二十一年度中に販売施設の整備等に係る基本設計を策定することだが、現段階で、施設の規模や運営形態については、どのように考えているのか伺います。

【答】 当該施設については、集客を図るため施設の充実を図るべきとの意見が出されていることなどから、年明け早々に基本設計の発注をして、三月までに素案を本委員会に示し、皆様から協議していただければと考えています。規模については、男鹿の物産、特産品を取り扱うのであれば、それほど大きくなくても対応できると思いますが、施設規模や取扱品など具体的な事については委員会等の意見を伺いながら進めてまいります。また、案内所内への販売施設の設置後は、民間の力を借りて管理運営を進めてまいりたいと考えております。

陳情

●医師・看護師不足を解消し、安心して地域医療を進めるために国・県に意見書提出を求める陳情

●介護保険制度の抜本的改善を国に求める意見書採択を要請する陳情

●特別支援教育支援員の配置に関する陳情

●労働者派遣法の改善のため意見書提出を求める陳情

●ペット移動火葬車撲滅に関する陳情

●法務局の増員に関する陳情

意見書

●法務局の増員に関する意見書

●医師・看護師不足を解消する

ための秋田県に対する意見書

●医師・看護師不足を解消し、安心して地域医療を進めるための国への意見書

●介護保険制度の抜本的改善を求める意見書

●労働者派遣法の改善を求める意見書

※ 五件とも可決されたので、市議会の意見として関係機関に送付しました。



議会活動状況 (平成20年1月1日～12月31日)

区 分	開 会 日 閉 会 日	会 期 日 数	本 会 議 日 数	委 員 会 日 数	議 案						議 決 内 容				
					市 長 提 出			議 員 提 出			計	原 案 可 決	否 決	継 続 審 査	撤 回
					条 例	予 算	そ の 他	条 例	意 見 書	そ の 他					
3月定例会	2月29日 3月19日	20	5	6	6	22	13	1	2	2	46	46			
5月臨時会	5月8日	1	1	1		4					4	4			
6月定例会	6月10日 6月24日	15	5	4	6	3	2		3	1	15	15			
8月臨時会	8月6日	1	1		1		3				4	2		2	
9月定例会	9月5日 9月25日	21	5	5	4	5	6	3	7		25	26	1		
12月定例会	12月2日 12月17日	16	5	4	2	12	1		5		20	20			
計		74	22	20	19	46	25	4	17	3	114	113	1		

※8月臨時会の2件の継続審査については、9月定例会で議決。

編集後記

今定例会は、平成二十一年四月十六日に任期満了となる佐藤一誠市長の、市長選出馬の意思を問う一般質問に定例会前から注目があつまり、一般質問の初日において市長が「長期の市政運営はマンネリ化の弊害を招くと考え、四期十六年で区切りとしたい」と答弁いたしました。

この答弁に議員一同に大きなどよめきがあるのかと思われたが、意外に冷静な受け止めようでありました。

市民の皆さんも佐藤市長の市長選出馬への動向については、これまで高い関心をもってのことと存じます。不出馬の理由は先に記していますが、その後の市長のコメントでは「出馬を前向きに考えてもいた」とも発言されており、一抹の未練があったのではないかと思われま

政治家の出処進退は、常に孤独だ。誰も決めてくれない、自分の判断だ。佐藤市長の引き際

のあざやかさ、堂々と次のリーダーへ引き継ぐという判断を賞賛すべきではないかと思う。

あなたも議事を
傍聴しませんか！

次の定例会は
2月下旬の予定です